

指定管理者評価シート

事業名	札幌市ひとり親家庭支援センター運営管理費	所管課(電話番号)	子ども未来局子育て支援部子育て支援課(211-2988)
-----	----------------------	-----------	------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市ひとり親家庭支援センター	所在地	中央区大通西19丁目 札幌市社会福祉総合センター
開設時期	平成元年6月1日	延床面積	442㎡
目的	母子家庭の母及び父子家庭の父及び児童並びに寡婦の心身の健康を保持し、生活の向上を図ることを目的とする。		
事業概要	各種相談、生活相談・生業指導及び就業支援、その他母子及び寡婦の福祉の増進に必要と認められる事業		
主要施設	OA研修室、研修室、保育室、相談室、技能修得室、休憩室、就業支援センター		
2 指定管理者			
名称	公益社団法人 札幌市母子寡婦福祉連合会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募の場合、その理由： 当該団体は母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく母子・父子福祉団体であり、札幌市ひとり親家庭支援センターの設置目的・機能と当該団体の役割が合致しており、特定団体が管理運営することが妥当と認められること。施設における事業内容の企画立案に際しては札幌市ひとり家庭等自立促進計画等に基づき、本市と指定管理者とが一体となって行う必要があり、本市の指定管理者への積極的な関与を特に必要とすること。これまで良好な管理運営を行っていることと認められること。以上のことから非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設・設備等の維持管理業務、ひとり親家庭支援センター管理・運営に関する業務、ひとり親家庭等就業支援センター事業、母子・父子自立支援プログラム策定事業等		
3 評価単位	施設数：1 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成29年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼平成29年度札幌市ひとり親家庭支援センター管理業務計画書及び管理業務仕様書において基本方針を策定し、方針に沿った施設運営に努めた。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼上記の基本方針に基づき、平等利用を確保するための取り組み項目を明確化し実施した結果、利用者の信頼に応えられるセンターとして適正に運営できた。	管理運営に係る基本方針に基づき支援体制の強化と適切な運営を遂行した。 平等利用を確保するため、幅広くひとり親家庭等を対象に利用者のニーズを把握し、適正な運営を遂行した。	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="font-size: small;"> 研修計画に仕様書に定める事項が記載されていなかったことから改善指導を行ったところ、改善が見られた。そのほか管理業務計画書、管理業務仕様書に基づき、概ね適切な運営が行われていた。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	研修計画に仕様書に定める事項が記載されていなかったことから改善指導を行ったところ、改善が見られた。そのほか管理業務計画書、管理業務仕様書に基づき、概ね適切な運営が行われていた。			
A	B	C	D								
研修計画に仕様書に定める事項が記載されていなかったことから改善指導を行ったところ、改善が見られた。そのほか管理業務計画書、管理業務仕様書に基づき、概ね適切な運営が行われていた。											

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼「環境保全行動計画に関する要綱」に則り、環境保全に向けた取り組みを実施した。
 ガスや水道の節約や節電、ゴミの分別やペットボトルキャップの回収ボックスの設置、使用済みトナー容器のリサイクルに努めた。
 清掃に関しては、人と環境に配慮した洗剤を使用し、極力節約に努めた。

左記取り組みにより環境への配慮を実施した。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼統括責任者として事務局長を配置し、職務代理者を定め、質の高いサービスが提供できる体制を維持している。従事者の確保、配置については各種研修を通じて、人材の育成に努めている。

役員及び職員研修を実施し資質の向上を図るとともに、諸規定及び内規類の整備により管理機能を強化し、事務局体制の充実を図った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼安全性、効率性、その他ひとり親家庭支援センターの管理水準を維持向上させていくため、常に情報を共有するとともに、定期的に見直し改善を図っている。

役員、センター職員、相談員、保育士等が常に情報の共有化を図り、サービス向上に努めた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼再委託はなし

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	3月2日 ・センター管理運営報告 利用者アンケート集計結果について 一般相談受付状況について 求職・就職・求人状況について 貸室利用状況について 就業支援講習会状況 ・センター管理運営計画
<協議会メンバー> 行政関係者:札幌市子ども未来局職員 総合センター関係者:市社会福祉協議会総務課長 センター関係者:就業支援講習会講師 常務理事(運営協議会長) ひとり親相談員 センター利用者:サークル俳句の会代表	

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、当団体が編成した予算により執行している。当団体による内部監査を年2回実施し、公認会計士による会計処理等の委嘱契約を結び指導を受けている。</p> <p>▼現金預金については、事務局長を責任者とし、出納、会計の担当者を別にして適正な管理に努めている。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼要望・苦情対応については、アンケートの実施、意見交換箱(社会福祉総合センター1階に設置、社会福祉協議会が管理)、意見回収箱(1階相談室に設置)などにより、要望苦情を把握の上、適切に受付、処理した上で解決するように努めている。</p> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼指定管理評価シート作成、提出</p> <p>▼指定管理者の雇用状況調べ作成、提出</p> <p>▼指定管理者の実施する利用者アンケートに関する調査作成、提出</p> <p>▼指定管理者施設の雇用環境の維持向上等の取り組み内容作成、提出</p>	<p>資金管理、現金等の取り扱いについては、毎日事務統括責任者による点検を実施。公認会計士、監事による預金通帳、帳票類、現金などの検査を定期的の実施し、適正に管理した。</p> <p>講習会等での利用者アンケートの実施やセンター意見交換箱等により要望、苦情を把握し、迅速かつ適切な善後策を講じ適正処理に努めた。</p> <p>記録、セルフモニタリングの実施や札幌市への報告、検査等への対応に努めた。</p>									
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼職員の雇用に関しては労働関係法令を遵守し、就業規則等を整備するとともに、労使協定の協定届等必要な届出を労働基準監督署に行っている。</p> <p>▼職員に対する給与、賃金等の支払を適切に行っている。</p> <p>▼職員の安全衛生やコミュニケーションを含め、十分な労働環境を整えている。</p> <p>▼年1回定期健康診断を実施している。</p> <p>▼衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職場環境の向上に努めている。</p>	<p>労働関係法令を遵守し、職員の配置や人員体制の補強等に考慮し労働環境を整える様に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めている。			
A	B	C	D								
法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼利用者の安全については、ひとり親家庭支援センターの業務内容及び複合施設ということを十分理解し、利用してもらうよう常に周知している。</p> <p>▼緊急時、非常時に対応するため、緊急時連絡網を作成して連絡体制を確保している。</p>	<p>協定書や仕様書に基づき、利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制の強化に努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">協定書、仕様書に基づき、利用者の安全確保に十分留意し、施設・整備等の維持管理、防災等、適切な管理がなされていた。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	協定書、仕様書に基づき、利用者の安全確保に十分留意し、施設・整備等の維持管理、防災等、適切な管理がなされていた。			
A	B	C	D								
協定書、仕様書に基づき、利用者の安全確保に十分留意し、施設・整備等の維持管理、防災等、適切な管理がなされていた。											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼センターは複合施設であることから、施設・設備等の維持管理の統括は、総合センターの指定管理者である、社会福祉協議会が実施している。</p> <p>▼清掃業務については、当会で請負、仕様書通りに適切に実施した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼社会福祉総合センター指定管理者主催の避難訓練に参加。</p> <p>11月2日自衛消防訓練・消火訓練の実施 3月7日自衛消防訓練・AED取扱講習訓練の実施</p>	<p>仕様書に基づき必要とされる業務を適切に実施している。特に清掃業務については当会の受託事業でもあるので快適で安心、安全な環境を維持できるよう努めた。</p> <p>自衛消防訓練、AED取扱訓練に参加し防災意識の向上、災害時の訓練に努めた。センター利用者の避難誘導についても責任者を決めて避難の際の注意点など確認している。</p>									
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ ひとり親家庭支援センターに関する管理・運営事業</p> <p>▼広報・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターリーフレット 8,500部発行 ・センターだより 年3回10,000部発行 ・広報さっぽろにセンター事業の募集等の掲載を依頼 ・ホームページによる情報提供 <p>▼教養講座の実施(児童の健全育成講座と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子のスノードーム工作会(25名参加)1月14日 <p>▼運営協議会の実施</p> <p>3月2日(委員6名出席)</p>	<p>ひとり親支援センターを周知してもらうため、リーフレット・センターだより・ホームページ・パネル展等あらゆる媒体を通してひとり親支援センターの存在をPRするとともに、ひとり親家庭の自立支援と、こどもの健全育成事業の推進に努めた。リーフレットはリニューアル後、配布枚数が増加しており問い合わせも増えている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1251 842 1294 875">A</th> <th data-bbox="1294 842 1337 875">B</th> <th data-bbox="1337 842 1380 875">C</th> <th data-bbox="1380 842 1423 875">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1251 875 1449 1397"> <p>広報・啓発について、引き続き積極的に実施した。教養講座の実施について、流行や利用者の声を取り入れ、毎年テーマを変えており、工夫が窺える。就業支援講習会について、開講講座を毎年全て検討し直し、時代のニーズや受講者からの要望を取り入れて実施していることが評価できる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>広報・啓発について、引き続き積極的に実施した。教養講座の実施について、流行や利用者の声を取り入れ、毎年テーマを変えており、工夫が窺える。就業支援講習会について、開講講座を毎年全て検討し直し、時代のニーズや受講者からの要望を取り入れて実施していることが評価できる。</p>			
A	B	C	D								
<p>広報・啓発について、引き続き積極的に実施した。教養講座の実施について、流行や利用者の声を取り入れ、毎年テーマを変えており、工夫が窺える。就業支援講習会について、開講講座を毎年全て検討し直し、時代のニーズや受講者からの要望を取り入れて実施していることが評価できる。</p>											

▽ ひとり親家庭等就業支援センター事業

▼就業相談の実施・就職情報提供

- ・新規登録者286名
- ・就業実績128名(内、情報提供による就業者36名)
- ・就職情報の提供 6,707名

▼就業促進活動

- ・支援センターへの求人484件、募集人員1,393名
- ・就職相談会:講習会受講生を対象に随時実施

▼相談・支援職員等に対する研修の実施

- ・就業相談員のミーティング年1回
- ・ひとり親相談員のミーティング年13回
- ・札幌地域生活福祉・就労支援協議会
- ・生活保護受給者等就労自立促進事業協議会2回
- ・養育費地域研修会
- ・養育費の相談に関する地域研修会年1回
- ・相談員、支援職員等研修年1回
- ・生活保護受給者等の就労支援協議会年1回
- ・専門職のための子どもの虐待に関する研修年1回

経験豊かなハローワークOBを配置し、就職相談、就職情報の提供、職務経歴書の書き方、面接時の対応の他、一人ひとりの生活状況に応じたきめ細かな相談に努めた。求人は昨年実績より就職情報の提供の件数、就業実績が減ってしまった。情報の提供は、利用者から日・祝日は連絡しないしてほしいという要望が多いため連絡しないことにより減少となった。就業実績は、就労条件に少しでも合わない応募しない方が多いため減少してしまった。労働情勢や助成制度、相談の対応の仕方など、関係団体との連携について研修し、強固な支援体制に努めた。

▼就業支援講習会等事業

・就業支援講習会の実施(16科目17講座)

- ①ワード・エクセル3級講習会 1回 資格取得者15名
- ②ワード・エクセル準2級講習会 2回 資格取得者14名
- ③ワード・エクセル・パワーポイント3級講習会 1回 資格取得者13名
- ④パワーポイント3級講習会 1回 資格取得者9名
- ⑤調剤薬局事務 1回 資格取得者10名
- ⑥医療事務講習会 1回 資格取得者7名
- ⑦介護事務講習会 1回 資格取得者5名
- ⑧介護職員初任者研修 1回 資格取得者15名
- ⑨メンタルヘルスⅢ種 1回 資格取得者13名
- ⑩メンタルヘルスⅡ種 1回 資格取得者14名
- ⑪簿記3級 1回 資格取得者5名
- ⑫ファイナンシャルプランナー3級1回 資格取得者15名
- ⑬サービス接遇実務3級 1回 資格取得者7名
- ⑭硬筆書写技能検定4級 1回 資格取得者5名
- ⑮カラーデザイン 1回 資格取得者3名
- ⑯観光英語検定3級 1回 資格取得者6名

・就職準備・離転職セミナー2回実施

- ①家計の見直しライフプラン講座 24名参加
- ②仕事に役立つビジネス英会話講座 12名参加

今年度より、観光英語検定、サービス接遇実務、パワーポイント3級等、利用者からの要望の多い講習や時代のニーズを取り入れた新しい講習会を3講座増やした。また、簿記3級を前回同様日商簿記とし、より就職に有利な講座を開催した。募集に際しては、広報さっぽろに掲載の他、リーフレット、センターだより、HP、就業相談に訪れた求職者等、幅広く情報提供し、より多くのひとり親家庭等に周知するよう広報活動を行った。選考にあたっては公正・公平性を重視した厳正な抽選を行った。また、講習会や相談を受ける利用者が安心して子どもを預けられ、子ども達が楽しく過ごせる環境づくりの整備や、託児者、家庭生活支援員の研修等を行い、資質向上に努めた。

	<p>▽ ひとり親家庭等生活支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼女性弁護士による法律相談の実施(月4回) 133件(母子123件、父子2件、寡婦8件) ▼臨床心理士による心療相談の実施(月2回) 20件(母子17件、父子2件、寡婦1件) <p>▽ ひとり親家庭等に関する相談業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼面接・電話による相談の実施 2,529件(母子1,974件、父子220件、寡婦335件) ▼相談員研修会の実施及び参加 法テラス札幌・関係機関連絡会議 養育費等の相談に関する地域研修会 養育費専門相談員等研修会 <p>▽ 母子・父子自立支援プログラム策定事業の実施 支援対象者15名、就職決定者14名</p>	<p>法律相談は昨年より、減少した。相談者が無料法律相談を使い分けている為とみられる。心療相談は前年同数となっている。</p> <p>カウンセリング経験豊かな相談員を配置し、月1回のミーティングを行うなど支援の方向性を共有し、相談者に寄り添った助言、方向性を示唆するなど問題解決に努めた。相談者が相談内容により、無料相談を使い分けているよう相談件数は減少した。また、父子相談の件数も昨年より減少しているが、当初は大半が経済的相談だったが29年度は離婚前相談が増加している。</p> <p>自立支援計画書を策定し、自立・就労支援を実施、就職決定に繋がった。</p>	
--	---	---	--

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等				技能習得室と研修室は、前年度よりも稼働率は上昇しているが、OA研修室は講習会の内容により減少となった。保育室は講習会託児の需要が少なかったため減少となった。目標稼働率を達成できるよう、次年度以降も引き続き利用促進の取り組みを継続していきたいが、センター工事の関係上利用者の減少が懸念される。	A	Ⓐ	C	D
		H28実績	H29計画	H29実績		OA研修室と保育室は、前年度よりも稼働率が低下した。しかし、技能習得室、研修室は前年度より稼働率が上がり、計画稼働率を達成した。そのため、利用促進の取組について、一定の評価ができる。			
(6)付随業務	▽ 広報業務	<p>▼講習会等の募集は、当会ホームページや札母連だより、センターだよりに掲載、ポスターを作成し、周知を図っている。</p> <p>▼センターリーフレットに掲載の他、単発の講座等についてはその都度HPに掲載、パンフレット、ポスターを作成しセンター、貸室等に掲示し幅広くPRに努めた。</p> <p>▼社会福祉総合センターやチカホ空間でパネル展を開催し、センター事業の周知を図った。</p>			ホームページ、ひとり親家庭支援センターリーフレット、チラシ、広報さっぽろ、パネル展等により更なる周知を図った。H30年度はHPをリニューアルし、活用しやすくする計画となっている。	A	B	Ⓒ	D
	▽ 引継ぎ業務	<p>前回からの継続指定のため、引き継ぎ業務なし</p>				ホームページにアクセスカウンターが置かれていない、情報が古いなどの不備があったことから改善指導を行ったところ、改善が見られた。そのほか、ひとり親家庭支援センターのリーフレット、広報さっぽろ等を活用し、講習会等の周知が十分になされていた。			
2 自主事業その他									
▽ 自主事業	▼実務講習会				実務講習会は、より高度な内容を学習したいという就業支援講習会受講生等のニーズを取り入れ、実施した。児童の健全育成講座は、製作が簡単なものにしたため参加者が増加した。	A	Ⓐ	C	D
	▼休日託児事業(ほりでーまむ)					実務講習会は、就業支援講習会受講生等のニーズを取り入れてテーマ設定を行っている。市内企業等の活用について、事務用品及び消耗品等の購入の全てを市内業者に発注した。			
▼市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	▼事務用品及び消耗品等の購入はすべて市内の業者に発注した。				市内企業の活用福祉施設への配慮等、消耗品、備品等、すべて市内業者に発注した。				
▼清掃業務については、当会で実施した。									

3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果					
		A	Ⓑ	C	D
実施方法	▼全体アンケート 講習会受講生、相談等のためにセンターに来訪した方を対象にアンケートを配布し、196名の回答を得た。 (実務講習会等については、終了時に感想等を記載してもらい今後の参考としている。)	利用者アンケートの結果は、概ね好評であった。利用者の意見、要望について改善を要する事項については、迅速に対処した。		利用者の満足度が高い水準に保たれている。また、利用者からの要望にも迅速に対応している。	
結果概要	①施設や事業をどのような方法で知りましたか。 ・広報さっぽろ43.8% ・札母連だより31.4% ・人からの情報 9.5% ・ハローワークや区役所など6.7% 他 ②この施設はどのような理由で利用しましたか。 ・就業支援講習会51.4% ・就業相談21.1% ・ひとり親相談12.1% ・セミナー8.1% 他 ③申込の仕方や利用はしやすかったですか。 ・良い40.3% ・非常に良い31.1% ・普通22.4% 他 ④利用時間は適切でしたか。 ・適切48.5% ・普通25.0% ・非常に適切22.4% 他 ⑤相談を受ける職員や講習会の講師の対応は良かったですか(接遇に関する満足度)。 ・とても良い59.2% 良い26.5% 普通9.7% 他 ⑥利用した施設の設備は使用しやすかったですか。 ・満足できた42.1% ・まあ満足31.0% 普通18.8% 他 ⑦託児室や保育士の対応はどうでしたか。 ・満足できた62.1% ・まあ満足17.2% 普通13.8% ⑧就業支援講習会又はセミナーについてはどうでしたか。 ・満足できた58.9% ・まあ満足19.3% ・普通8.1% 他 ⑨この施設の総合的な満足度はどれにあたりますか。 ・満足できた46.9% ・まあ満足32.7% ・普通14.3%	職員の対応については好評価を得ているが、さらなる接遇の向上に努めたい。			

利用者からの意見・要望とその対応	<p>【要望】（例年、要望が多い事項。）</p> <p>①部屋暑かったり寒かったり温度調節が大変でした。</p> <p>②駐車場を利用したい。</p> <p>③トイレを増やしてほしい。全部様式にしてほしい。</p> <p>【対応】</p> <p>①については、社会福祉総合センター管理者に要望等を伝えているとともに、扇風機や加湿器など使用して対応している。</p> <p>②については、地下鉄駅から近い事もあり、できるだけ公共交通機関で来ていただくよう理解に努めた。</p> <p>③については、違う場所のトイレを案内している（1か所しかわからなかった）。</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の支えのためであることはわかります。でも、本当に資格を取得したい人のためにはもっと少人数のほうがいいのかと思って思います。 ・夕食を取る時間が全くなくなることがほとんどだが、飲食をする場所がなくロビーは人目もあり落ち着かない。せめて飲み物だけでも取れるようにしてほしい。 ・講習会のハガキも仕込みは申込しづらい、インターネットにしてほしい。⇒H30年度からはHPからの申し込みができるよう検討 ・過去に1度受講したものでも検定不合格だった場合、定めた期間で受講が可能になると良いと思います。⇒H30年度より、定員に空きがある場合のみ受講可能とする ・正面玄関ホールにあるイスが破れているので、衣類を傷つけそうになってしまいます。直していただけたらと思います。 ・このような施設があることを初めて知りました。いろいろな境遇らしき方もたくさんいて、自分の知らない世の中を知ることが出来、良い経験になりました。 ・皆さんと仲良くなりそれぞれの悩み事や、子どものことなど話が出来たり、勉強をして知識を得る事は大切だと思います。
------------------	---

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	Ⓑ	C	D
項目	H29計画	H29決算	差(決算-計画)	指定管理業務の収支コストの適正化を図り、運営計画に基づき経費の節減など執行に心がけたが、人件費の上昇等に伴い支出が上回った。 指定管理業務について、計画通りに執行された。			
収入	35,318	35,264	▲ 54				
指定管理業務収入	34,848	34,848	0				
指定管理費	34,848	34,848	0				
利用料金	0	0	0				
その他	0	0	0				
自主事業収入	470	416	▲ 54				
支出	35,338	35,752	414				
指定管理業務支出	34,848	35,214	366				
自主事業支出	490	538	48				
収入-支出	▲ 20	▲ 488	▲ 468				
利益還元	0	0	0				
法人税等	0	0	0				
純利益	▲ 20	▲ 488	▲ 468				
▽ 説明							
【自主事業収入内訳】							
1.実務講習会 39千円							
2.託児事業(ほりで一まむ) 370千円							
3.児童の健全育成講座 7千円							
【自主事業支出内訳】							
1.実務講習会 67千円							
2.託児事業(ほりで一まむ) 463千円							
3.児童の健全育成講座 8千円							

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。			
<p>▽ 安定経営能力の維持 当事業の財務状況等は、札幌市からの委託料収入であり、事務費・事業費の収支のバランスを考え、安定した経営を行っている。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">(適)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">不適</td> </tr> </table>	(適)	不適
(適)	不適		
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼個人情報、札幌市個人情報保護条例に則り、当法人「個人情報取扱規程」に基づき、適正に取り扱っている。</p> <p>▼情報公開については、透明性を確保するため、情報の公開を行うこととしている。(請求件数0件)</p> <p>▼暴力団の活動に利用されないように適切な対応を行った。物品購入等において、暴力団関係事業者とは取引を行わないように留意した。</p> <p>▼事務用品などグリーン購入の推進、エコペーパーの使用や紙資源の有効活用や再利用、不使用時のPCの省電力化設定やエレベーター不使用による節電に努めている。清掃に使用する洗剤は、環境に配慮したもので人体に影響のないものを使用している。施設全体でのゴミ分別を徹底し、ごみの減量及びリサイクルの努めている。</p> <p>▼施設を暴力団の活動に利用されないよう、センターの設置目的に則り利用者に利用目的の確認を徹底している。</p> <p>▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">(適)</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">不適</td> </tr> </table>	(適)	不適
(適)	不適		

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>ひとり親家庭をとりまく社会的環境は目まぐるしく変化しているが、札幌市では時代のニーズに合わせながら、就労支援・子育て支援・生活支援をはじめとする地域の様々な課題に向け取り組んでいる。</p> <p>ひとり親家庭支援センターでは自立支援策を最大限に生かした事業の遂行と、ひとり親家庭の親のメンタル面での相談、さらに、団体の使命でもある子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会の実現と、就労支援・子育て支援・生活支援をはじめ、地域での様々な生活課題の解決に向け母子と寡婦が一丸となった支援体制の強化に努めた。</p>	<p>あらたにひとり親家庭支援センター指定管理者としてのスタートすることから、これまでの経験と実績を最大限に生かした業務内容の質的向上、サービス向上になお一層努め、時代のニーズに適切に対応したサービスの提供に努める。</p> <p>ホームページをリニューアルし、各種行事の参加や問い合わせなど利用できるようにしたり、センター利用促進のPRにも活用する。</p> <p>公的サービスだけでは対応できない様々な課題にも公益性を有する団体として、地域団体との連携を密にし、安定かつ継続した支援体制の強化と、ひとり親家庭及び寡婦の自立に向けた福祉の推進のための機能をより一層強化し、生活の安定と向上のための支援を推し進めていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>就業支援や生活相談等、ひとり親家庭の生活の安定、向上に資する事業を堅実に実施している。事業内容について、利用者からの高い評価が得られており、事業水準が高く保たれているといえる。</p>	<p>研修計画やホームページに不備があったことから指摘を行い、改善が見られた。特に施設・支援制度の周知が課題となっているため、ホームページの全面的なリニューアルを平成30年度に行うこととした。</p> <p>また、今後も、利用者からの高い評価を得られるよう指導を続けていく。</p>